

令和 3 年度決算の概要

1. 教育・研究及び医療環境の整備

(1) [教育関係]

- ① 新型コロナウイルス感染症への対応
(学習環境の整備および授業料減免等の支援)
- ② 御井学舎
御井本館 1 階メディアスタジオ新設
- ③ 医学部
旭町学内 LAN 基盤システム構築
- ④ 附設高中校
中高寮事務室 Wi-Fi 整備

(2) [研究関係]

- ① 御井学舎
寄附講座「現代メディア学」の設置更新
- ② 医学部
久留米大学外科学研究籠田助成基金の設立
寄附講座「地域医療連携講座」の設置更新

(3) [医療関係]

- ① 新型コロナウイルス感染症への対応
(院内感染対策および病床確保)
- ② 大学病院
電子カルテネットワークセキュリティー監視装置導入
- ③ 医療センター
手術室医療機器の更新
(電動油圧手術台、手術室セントラルモニタの更新)

2. 財務状況

【事業活動収支の状況】

事業活動収入計の 6 4 4 億 2 千 5 百万円から、事業活動支出計の 6 0 3 億 3 千 3 百万円を差し引いた基本金組入前当年度収支差額は、4 0 億 9 千 2 百万円となり、予算比で 3 9 億 1 千 6 百万円の増となりました。

内訳として、経常収支差額は 4 0 億 5 千 2 百万円となり、予算比では 3 9 億 9 千 4 百万円の増となりました。新型コロナウイルス感染対策を継続しながら、診療体制、教育環境の整備を行いました。収入では、新型コロナウイルス感染症対策に係る補助金交付金が増加、支出では、教育研究経費および医療収入の増加に伴う医療経費が増加しています。

臨時的な収支を示す特別収支差額は4千万円、収入では、新型コロナウイルス感染症に関する施設設備の補助金の増、支出では資産処分差額の増など、予算比で7千8百万円の減となりました。

基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額合計13億6千1百万円を差し引いた当年度収支差額は、27億3千1百万円の収入超過となりました。

以上のことから、基本金組入前当年度収支差額は黒字となったものの、安定した財務基盤確立に向け、本業である教育活動収支の改善を図り、基本理念、将来構想の実現に向けて取り組んでまいります。

【資金収支の状況】

収入の部小計の1,107億8千7百万円から、支出の部小計の1,112億3千8百万円を差し引いた当年度収支差は、4億5千1百万円となり、予算比では6億8百万円の減となりました。

予算比の主な増減は、事業活動収支状況に加えて、収入の部では資産売却収入の増、支出の部では施設関係支出、資産運用支出で増となりました。

以上の結果、翌年度繰越支払資金は、50億7千万円となりました。

【貸借対照表の状況】

資産の部合計は1,202億4千1百万円で、前年度比42億2百万円増加しています。一方、負債の部合計は302億6千1百万円となり前年度比1億1千万円増加しています。基本金と繰越収支差額を合計した純資産は899億8千万円となり、前年度比で令和3年度の基本金組入前当年度収支差額分の40億9千2百万円増加しています。

◎財務書類等（財産目録・貸借対照表・収支計算書・事業報告書・監査報告書）の閲覧の請求は、財務部経理課で承ります。